

千葉県旭市の総合事業について（コミュニティバス実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 鉄道は、JR総武本線旭駅（特急停車駅）を含め市内に4駅があり、首都圏への公共交通の中核となっている。
- 本市と近隣市とを結ぶ民間バス路線は2路線であり、公的な補助により存続、あるいは運行のあり方について協議をしている状況である。
- 本市は、平成17年7月に、旭、海上、飯岡、干潟の旧4市町が合併して誕生した。合併前の運行内容を基本にコミュニティバス及び旭中央病院への通院を目的とした福祉バスを運行していたが、福祉バスは、途中での乗降に制限があるなどの課題があった。

活性化の目標・方向性

- 高齢者等の交通弱者の交通手段の確保と交通空白地域の解消を目的とし、干潟地区において、従来運行されていた利用制限のある福祉バスの再編を行い、住民の利便性の確保のため、主要な公共施設を結んだコミュニティバスの実証運行を実施するとともに、多くの方が利用するよう情報提供を行う。
- 地域の実情にあった運行経路、需要に見合った車両の購入、適正な乗車運賃のあり方等について検討する。

実施する事業の内容

- 干潟地区におけるコミュニティバスの実証運行事業（平成21年4月～平成22年3月）
 - ◆ ルート 旭中央病院－旭駅－萬歳地区－干潟支所－鐺木地区－干潟駅－市役所－旭駅－旭中央病院
 - ◆ 本数 1日8便
 - ◆ 運賃 100円（就学前児童、障害者は無料）
- 利用促進方策（平成21年度・平成22年度）
 - ◆ 鉄道や既存バス路線との乗り継ぎ利便の向上を考慮したコミュニティバス運行時刻等の調整
 - ◆ ホームページ・広報紙等を通じた公共交通機関の利用促進
 - ◆ コミュニティバスの時刻表等の作成・配布

千葉県旭市 : 総合事業の実施区域

管内図

